



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 パイオニア株式会社

コード番号 6773 URL <http://pioneer.jp/ir/>

代表者(役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 小谷 進

問合せ先責任者(役職名) 代表取締役兼専務執行役員 (氏名) 岡安 秀喜 (TEL)044-580-3211

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	109,257	2.0	7,568		9,151		10,076	
25年3月期第1四半期	111,430	13.6	599	69.3	976		2,761	

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 5,826百万円(%) 25年3月期第1四半期 8,557百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
26年3月期第1四半期	円 銭 31.23	円 銭
25年3月期第1四半期	8.60	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
26年3月期第1四半期	百万円 325,359	百万円 84,696	% 24.4	円 銭 216.64
25年3月期	311,325	81,576	24.5	237.97

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 79,550百万円 25年3月期 76,404百万円

(注) 自己資本は、純資産から少数株主持分を控除したものを記載しています。1株当たり純資産は、自己資本を期末発行済株式数(自己株式控除後)で除して算出しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭	円 銭 0.00	円 銭	円 銭 0.00	円 銭 0.00
26年3月期					
26年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	230,000	2.4	0	100.0	2,500		5,000		15.50
通期	505,000	11.8	10,000	66.8	5,000	515.8	500		1.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

1株当たり当期純利益の予想値は、平成26年3月期第1四半期における期中平均株式数を用いて算出しています。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 無

修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	372,223,436 株	25年3月期	326,093,836 株
期末自己株式数	26年3月期1Q	5,024,852 株	25年3月期	5,024,569 株
期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	322,589,855 株	25年3月期1Q	321,069,793 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、金融商品取引法に基づき四半期報告書に記載される四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の前提条件および注意事項等については、添付資料の4ページをご参照下さい。

目 次

1. 四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績	P. 2
(2) 連結財政状態	P. 3
(3) 連結業績予想	P. 4
2. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
3. 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(1) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(2) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
(3) セグメント情報等	P. 10

問合せ先：IR部

電 話 (044) 580-3211
ファクシミリ (044) 580-4064
Eメール pioneer_ir@post.pioneer.co.jp
U R L <http://pioneer.jp/ir/>

1. 四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績

(金額単位 百万円)

科 目	平成26年3月期第1四半期 (平成25年4月～平成25年6月)	平成25年3月期第1四半期 (平成24年4月～平成24年6月)	増減率
売上高	109,257	111,430	△2.0%
営業損益	△7,568	599	—
経常損失	△9,151	△976	—
当期純損失	△10,076	△2,761	—

平成26年3月期第1四半期（平成25年4月1日～平成25年6月30日）における連結売上高は、大幅な円安の効果がありましたが、市販カーナビゲーションシステムや光ディスクドライブ関連製品が減少したことにより、前年同期に比べ2.0%減収の109,257百万円となりました。

営業損益は、利益率の高い市販カーナビゲーションシステムの減収等による原価率の悪化や為替の影響などにより、前年同期の599百万円の利益から7,568百万円の損失となりました。また、当期純損失は、主に営業損益の悪化により、前年同期の2,761百万円から10,076百万円となりました。

当四半期の平均為替レートは、前年同期に比べ、対米ドルは18.8%の円安、対ユーロは20.2%の円安となりました。

カーエレクトロニクスの売上は、前年同期に比べ2.4%減収の79,088百万円となりました。カーナビゲーションシステムについては、OEMが主に中南米で増加しましたが、市販市場向けが市況の低迷により主に国内で減少したことから、減収となりました。カーオーディオについては、国内で減少しましたが、海外では、円安の効果により、市販市場向けが欧州および北米で増加し、OEMも各地域で増加したことから、増収となりました。なお、カーエレクトロニクス全体の売上高に占めるOEMの売上構成比は、前年同期の53%から58%となりました。

国内外別の売上については、国内は16.2%減収の34,352百万円、海外は11.6%増収の44,736百万円となりました。

営業損益は、利益率の高い市販カーナビゲーションシステムの減収等による原価率の悪化や為替の影響などにより、前年同期の4,972百万円の利益から3,077百万円の損失となりました。

ホームエレクトロニクスの売上は、前年同期に比べ4.6%減収の20,368百万円となりました。DJ機器は増加しましたが、市況の低迷により光ディスクドライブ関連製品が減少しました。

国内外別の売上については、国内は28.1%減収の6,257百万円、海外は11.6%増収の14,111百万円となりました。

営業損失は、原価率の悪化や販売費及び一般管理費の増加に加え、売上の減少により、前年同期の2,780百万円から3,510百万円となりました。

その他の売上は、電子部品や電話機が減少しましたが、F A機器やEMS（電子機器受託製造サービス）の増加により、前年同期に比べ8.4%増収の9,801百万円となりました。

国内外別の売上については、国内は7.4%減収の5,757百万円、海外は43.0%増収の4,044百万円となりました。

営業損失は、F A機器等の損益が改善したことから、前年同期の1,156百万円から999百万円に縮小しました。

(注) 各セグメントの営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表しています。

(2) 連結財政状態

当第1四半期末の総資産については、受取手形及び売掛金が減少しましたが、現金及び預金や投資有価証券、ならびに棚卸資産が増加したことにより、前期末に比べ14,034百万円増加し、325,359百万円となりました。受取手形及び売掛金は、当第1四半期の売上高が前期の第4四半期に比べ減少したことにより5,429百万円減少し、73,549百万円となりました。一方、現金及び預金は、第三者割当増資を行ったことなどにより、13,727百万円増加し、35,786百万円となりました。投資有価証券は、保有株式の時価の上昇等により1,700百万円増加しました。また、棚卸資産は、主に円安の影響により1,642百万円増加し、78,108百万円となりました。

負債については、事業構造改善費用引当金が6,211百万円減少しましたが、仕入高の増加に伴い支払手形及び買掛金が10,268百万円増加したことや、未払費用が7,508百万円増加したことなどから、前期末に比べ10,914百万円増加し、240,663百万円となりました。

純資産については、当期純損失10,076百万円を計上しましたが、第三者割当増資により、資本金および資本剰余金がそれぞれ4,475百万円増加したことに加え、円安により為替換算調整勘定が3,104百万円増加したことなどにより、前期末に比べ3,120百万円増加し、84,696百万円となりました。

当第1四半期のキャッシュ・フローについては、営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期の3,159百万円の支出から11,157百万円の収入となりました。これは、税金等調整前当期純損失が7,967百万円拡大した一方で、仕入債務が前年同期の3,854百万円の減少から、9,048百万円の増加に転じたことに加え、棚卸資産の増加額が11,055百万円縮小したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が3,198百万円減少し、6,488百万円の支出となりました。これは、固定資産の取得による支出が2,260百万円減少したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に第三者割当増資により、前年同期の511百万円の支出に対し、8,229百万円の収入となりました。

また、外貨建の現金及び現金同等物の換算差額は、前年同期の1,385百万円のマイナスから605百万円のプラスとなりました。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ13,503百万円増加し、34,470百万円となりました。

(3) 連結業績予想

平成25年5月13日に発表した平成26年3月期連結業績予想について、次のとおり修正します。

[第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)]

(金額単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常損益	当期純損失
前回発表予想(A)	235,000	1,000	△1,500	△1,500
今回修正予想(B)	230,000	0	△2,500	△5,000
増減額(B-A)	△5,000	△1,000	△1,000	△3,500
増減率(%)	△2.1	△100.0	—	—
平成25年3月期第2四半期 連結累計期間実績(ご参考)	224,577	3,153	733	△7,500

[通期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)]

(金額単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	515,000	15,000	10,000	6,000
今回修正予想(B)	505,000	10,000	5,000	500
増減額(B-A)	△10,000	△5,000	△5,000	△5,500
増減率(%)	△1.9	△33.3	△50.0	△91.7
平成25年3月期通期実績 (ご参考)	451,841	5,997	812	△19,552

カーエレクトロニクスにおいて、国内市場の低迷を受けた市販カーナビゲーションシステムや、海外では主に新興国での市販カーオーディオの売上が計画を下回る見通しです。また、ホームエレクトロニクスにおいても、光ディスクドライブ関連製品やAVアクセサリなどの売上減を見込むほか、市況低迷によるホームAV製品の損益下振れを考慮したことにより、計画を下回る見通しです。これらにより、中間期および通期の業績予想を上記のとおり下方修正します。

なお、以上の業績予想において、為替レートは、1米ドル=95円、1ユーロ=125円と想定しており、前回から変更ありません。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されたいようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合弁、提携またはその他の事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,059	35,786
受取手形及び売掛金	78,978	73,549
商品及び製品	40,032	44,090
仕掛品	11,447	10,739
原材料及び貯蔵品	24,987	23,279
繰延税金資産	4,925	5,187
その他	14,559	16,734
貸倒引当金	1,734	1,796
流動資産合計	195,253	207,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	67,680	67,494
機械、運搬具及び工具器具備品	146,881	147,819
リース資産	9,333	9,290
その他	21,344	20,722
減価償却累計額	180,236	181,572
有形固定資産合計	65,002	63,753
無形固定資産		
のれん	606	595
ソフトウェア	34,898	35,999
その他	1,206	1,046
無形固定資産合計	36,710	37,640
投資その他の資産		
投資有価証券	6,491	8,191
繰延税金資産	5,728	5,978
その他	2,351	2,317
貸倒引当金	210	210
投資その他の資産合計	14,360	16,276
固定資産合計	116,072	117,669
繰延資産	-	122
資産合計	311,325	325,359

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,773	69,041
短期借入金	20,535	20,844
1年内返済予定の長期借入金	62,677	62,677
未払法人税等	2,617	1,669
未払費用	28,431	35,939
製品保証引当金	2,678	2,672
事業構造改善費用引当金	6,211	-
その他	17,328	17,179
流動負債合計	199,250	210,021
固定負債		
長期借入金	13,000	13,000
退職給付引当金	13,153	13,632
その他	4,346	4,010
固定負債合計	30,499	30,642
負債合計	229,749	240,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	87,257	91,732
資本剰余金	51,541	56,016
利益剰余金	17,318	7,242
自己株式	11,050	11,050
株主資本合計	145,066	143,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	695	2,009
繰延ヘッジ損益	34	33
為替換算調整勘定	66,260	63,156
海外子会社年金調整額	3,063	3,210
その他の包括利益累計額合計	68,662	64,390
少数株主持分	5,172	5,146
純資産合計	81,576	84,696
負債純資産合計	311,325	325,359

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	111,430	109,257
売上原価	87,425	93,045
売上総利益	24,005	16,212
販売費及び一般管理費	23,406	23,780
営業利益又は営業損失()	599	7,568
営業外収益		
受取利息	43	31
受取配当金	62	18
持分法による投資利益	-	48
その他	125	63
営業外収益合計	230	160
営業外費用		
支払利息	634	669
持分法による投資損失	254	-
為替差損	552	706
その他	365	368
営業外費用合計	1,805	1,743
経常損失()	976	9,151
特別利益		
固定資産売却益	72	98
災害保険金収入	35	-
特別利益合計	107	98
特別損失		
事業構造改善費用	-	305
固定資産除売却損	20	29
減損損失	45	-
災害損失	490	-
その他	-	4
特別損失合計	555	338
税金等調整前四半期純損失()	1,424	9,391
法人税、住民税及び事業税	1,351	930
法人税等調整額	32	85
法人税等合計	1,383	845
少数株主損益調整前四半期純損失()	2,807	10,236
少数株主損失()	46	160
四半期純損失()	2,761	10,076

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	2,807	10,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,197	1,314
繰延ヘッジ損益	366	1
為替換算調整勘定	4,140	3,077
持分法適用会社に対する持分相当額	82	165
海外子会社年金調整額	139	147
その他の包括利益合計	5,750	4,410
四半期包括利益	8,557	5,826
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,286	5,804
少数株主に係る四半期包括利益	271	22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	1,424	9,391
減価償却費	6,018	6,502
退職給付引当金の増減額(は減少)	598	264
事業構造改善費用引当金の増減額(は減少)	-	6,211
受取利息及び受取配当金	105	49
支払利息	634	669
売上債権の増減額(は増加)	8,979	6,943
たな卸資産の増減額(は増加)	11,161	106
仕入債務の増減額(は減少)	3,854	9,048
未払費用の増減額(は減少)	3,162	7,263
その他	3,442	1,980
小計	35	12,952
利息及び配当金の受取額	105	49
利息の支払額	622	651
法人税等の支払額	2,607	1,193
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,159	11,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	700	161
固定資産の取得による支出	9,124	6,864
固定資産の売却による収入	117	653
その他	21	116
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,686	6,488
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	3	202
長期借入金の返済による支出	582	-
株式の発行による収入	-	8,823
その他	74	392
財務活動によるキャッシュ・フロー	511	8,229
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,385	605
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	14,741	13,503
現金及び現金同等物の期首残高	45,953	20,967
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,212	34,470

3. 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(1) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(2) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年6月28日に、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモおよび三菱電機株式会社に対し、第三者割当増資により新株式を発行しました。この結果、当第1四半期連結会計期間において、資本金および資本剰余金は、それぞれ4,475百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、資本金は91,732百万円、資本剰余金は56,016百万円となりました。

(3) セグメント情報等

1. セグメント別売上高

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
国内	40,972	36.8%	34,352	31.4%	16.2%
海外	40,070	35.9	44,736	41.0	11.6
カーエレクトロニクス	81,042	72.7	79,088	72.4	2.4
国内	8,698	7.8	6,257	5.7	28.1
海外	12,649	11.4	14,111	12.9	11.6
ホームエレクトロニクス	21,347	19.2	20,368	18.6	4.6
国内	6,214	5.6	5,757	5.3	7.4
海外	2,827	2.5	4,044	3.7	43.0
その他	9,041	8.1	9,801	9.0	8.4
国内	55,884	50.2	46,366	42.4	17.0
海外	55,546	49.8	62,891	57.6	13.2
連結売上高計	111,430	100.0	109,257	100.0	2.0

2. セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	カーエレクトロニクス	ホーム エレクトロ ニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	81,042	21,347	9,041	111,430		111,430
セグメント間の内部 売上高または振替高	191	68	1,833	2,092	2,092	
計	81,233	21,415	10,874	113,522	2,092	111,430
セグメント利益(損失)	4,972	2,780	1,156	1,036	437	599

(注) 1. セグメント利益(損失)の調整額 437百万円には、セグメント間取引消去44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等 481百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント利益(損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注 1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	カーエレクトロニクス	ホーム エレクトロ ニクス	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	79,088	20,368	9,801	109,257		109,257
セグメント間の内部 売上高または振替高	190	51	2,049	2,290	2,290	
計	79,278	20,419	11,850	111,547	2,290	109,257
セグメント損失()	3,077	3,510	999	7,586	18	7,568

(注) 1. セグメント損失()の調整額18百万円には、セグメント間取引消去94百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等 76百万円が含まれています。全社費用等の内容は、一般管理費の配賦差額、報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費等です。

2. セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。